

日本の歴史

241～255

1	江戸時代に行われた農具の改良で、2～5本のフォークのような歯を持ち、開墾などに使われた農具を何と言いますか。	備中ぐわ
		びっちゅうぐわ
2	江戸時代に行われた農具の改良で、脱穀を容易にした道具を何と言いますか。	千歯こき
		せんばこき
3	資本家である問屋が原料道具等を小生産者に貸し付けて、それを一括して買い上げる生産形態を何と言いますか。	問屋制家内工業
		とんやせいかないこうぎょう
4	資本家が生産手段を持ち、生産者を集め分業などの協業で賃金を支払う生産形態を何と言いますか。	工場制手工業
		こうじょうせいしゅこうぎょう
5	江戸時代に大名、旗本などの年貢米を販売するための場所として主に大阪に置かれたものを何と言いますか。	蔵屋敷
		くらやしき
6	江戸から各地につながる主な道を総称して何と呼びましたか。	五街道
		ごかいどう
7	江戸時代、日本の中心であった京都・大阪・江戸を総称して何と呼びましたか。	三都
		さんと
8	「将軍のおひざ元」と呼ばれた江戸に対して、商業の中心であった大阪は何と呼ばれましたか。	天下の台所
		てんかのだいどころ
9	江戸時代、大阪や京都など関西の中心を何と呼んでいましたか。	上方
		かみがた
10	17世紀の末から18世紀の初頭に京都・大坂で栄えた文化を何と言いますか。	元禄文化
		げんろくぶんか
11	17世紀の末から18世紀の初頭に人形浄瑠璃の作家として活躍した人物は誰ですか。	近松門左衛門
		ちかまつもんざえもん
12	17世紀の後半に浮世絵を独立した絵画芸術として大成した人物は誰ですか。	菱川師宣
		ひしかわもろのぶ
13	17世紀の後半に活躍した俳句の名手で俳聖と呼ばれた人は誰ですか。	松尾芭蕉
		まつおばしょう
14	19世紀前半、11代将軍徳川家斉のころに江戸で栄えた文化を何と呼びますか。	化政文化
		かせいぶんか
15	江戸時代後期の作家で「東海道中膝栗毛」などの作品で知られる作家は誰ですか。	十返舎一九
		じっぺんしゃいっく